



写真左はウォールナット材、右はチェリー材

無垢材ならではの温もり、シンプルなかにもさまざまな工夫が施されたフォルム。そこから生まれる極上の座り心地が、「FEIN」の魅力です。その最大の特徴は、滑らかなカーブに削り出した大きな笠木。縦幅を広く取り、深い傾斜を付けることで、安定した背当たり感を実現しています。「ディテールこそ美しさが宿る」と言われるように、接合部分などの細やかな仕事ぶりも、全体の印象を決定付ける大きな要素となります。そして、ダイニングシーンの主役として使われるからには、どの角度から見ても造形美を楽しめることが理想。「FEIN」の愛らしく均整のとれたスタイルは、ダイニングに独特の存在感を放ち、団欒の場になごやかさをプラスしてくれます。

チェア ファイン

CHAIR FEIN

DESIGN;SADAO AIDA



写真はナラ材



機能とデザインへのこだわりが光る、「楕円ほぞ」。

板座と後ろ脚は「楕円ほぞ」とよばれる仕口によって接合。楕円形によって接合面を大きくすることで、強度を高めています。釘やボルトなどに頼らず「木は木で締める」日本の伝統工法の「割りくさび」を応用することで、世代を超えて使い込める丈夫さを作り出します。



より深く確かな接合を支える、後ろ脚の「持ち出し」。

後ろ脚と笠木の接合部分に施された、有機的なデザイン。これは、後ろ脚を「持ち出し」にすることで、笠木との接合を深くし、強度を高めるために生まれたものです。また、この後ろ脚と笠木の滑らかなフォルムが、チェアに愛くるしい表情をもたらしています。

SIZE : W526 D530 H805 SH410
TYPE SELECT : 楕目 / 板目

● MATERIAL SELECT (選べる7つの無垢材)

